

# 急傾斜地崩壊対策詳細設計照査要領

平成29年10月

# 工 法 の 選 定

## ( 照 査 ① )

業 務 名 : \_\_\_\_\_

発 注 者 名 : \_\_\_\_\_

受 注 者 名 : \_\_\_\_\_

照査の日付： 平成        年        月        日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

工 法 の 選 定

No.	照査項目	照査内容		照査①			確認資料	備考
				該当対象	確認			
					確認日			
			照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入		確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	設計業務等照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照	
1	土質調査	1)	現地踏査、ボーリング調査、簡易貫入試験等地質構造の把握に必要な調査を行っているか。					
		2)	地質構成、風化の程度、地下水位等を確実に把握しているか。					
2	工法選定	1)	崩壊の要因・形態・規模の想定は適切か。					
		2)	対策範囲の設定は適切か。 ・被害想定区域は適切に把握しているか。 ・保全対象人家は適切に把握しているか。					
		3)	対策工の目的は適切か。					
		4)	工法の比較検討は十分なされているか。 ・経済性、施工性、土質条件等の検討。 ・周囲の景観および環境に配慮しているか。					
		5)	維持管理面を考慮した計画になっているか。					

工法の選定

追加項目記入表

No.	照査項目	照査内容	照査①			確認資料	備考
			該当対象	確認	確認日		
				照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入	確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	設計業務等照査要領の概要「6. その他記載等にわたっての留意事項」を参照
3	工法選定のフローチャート	<div><div><div>工法の選定</div><div>↓</div><div>予想される崩壊の要因・形態・規模の想定</div><div>↓</div><div>(対策範囲)の設定 被害想定区域の把握 保全対象人家の把握</div><div>↓</div><div>対策工の目的</div><div>↓</div><div>(工法の比較検討) ・経済性、施工性、土質条件等 ・景観・環境への配慮</div><div>↓</div><div>維持管理面の考慮</div><div>↓</div><div>工法の決定</div><div>↓</div><div>詳細設計および設計数量の算出</div><div>↓</div><div>成果品の提出</div></div><div><div>土質調査</div><div>↓</div><div>・現地調査 ・ボーリング調査 ・簡易貫入試験 ・その他必要な調査</div><div>↓</div><div>成果品の提出</div></div></div>					

基本事項の照査項目一覧表（様式－１）

追加項目記入表

No.	照査項目	照査内容		照査①			確認資料	備考
				該当対象	確認			
					確認日			
				該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入	確認できる資料の名称、頁等を記入 （例）関連基準類、過年度成果の該当頁 等	設計業務等照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照

# 細 部 条 件 の 照 査 項 目 一 覧 表

## ( 照 査 ② )

業 務 名 : \_\_\_\_\_

発 注 者 名 : \_\_\_\_\_

受 注 者 名 : \_\_\_\_\_

照査の日付： 平成        年        月        日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

No.	照査項目	照査内容		照査②			確認資料	備考
				該当対象	確認			
						確認日		
			該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入	確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	設計業務等照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照	
1	擁壁工	1)	擁壁高は適切か。					
		2)	擁壁形式の選定は適切か。					
		3)	土質定数は適切か。					
		4)	安定性に関する検討は適切か。 ・滑動に対する安定 ・転倒に対する安定 ・基礎地盤の支持力に対する安定 ・擁壁高によっては地震時の安定					
2	法枠工	1)	法面勾配、土質条件、施工性等、現地状況に合った法枠工法か。					
		2)	枠の厚さ、間隔は適切か。					
		3)	枠内の地山の中抜け対策は適切か。					
3	アンカー工	1)	すべり面の想定は適切か。					
		2)	地盤定数は適切か。					
		3)	斜面の安定に関する検討は適切になされているか。 ・現状安全率の評価 ・計画安全率の算定					
		4)	必要アンカー力の算定は適切か。					
		5)	アンカー体定着地盤の強度は十分か。					
		6)	アンカーの間隔は適切か。					
		7)	アンカー長の設定は適切か。 ・定着長、自由長は適切か。					
		8)	アンカー材の設計は適切か。 ・施工性、経済性の検討 ・二重防錆は行われているか。					
		9)	配置は適切か。					
		10)	アンカーエの受圧方法は適切か。 ・法枠工、PC ・ RC受圧版 ・法枠工の枠の厚さ、強度は適切か。					

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

追加項目記入表

No.	照査項目	照査内容		照査③			確認資料	備考
				該当対象	確認			
					確認日			
				該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入	確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	設計業務等照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照



# 成 果 品 の 照 査 項 目 一 覧 表

## ( 照 査 ③ )

業 務 名 : \_\_\_\_\_

発 注 者 名 : \_\_\_\_\_

受 注 者 名 : \_\_\_\_\_

照査の日付： 平成      年      月      日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表（様式－３）

No.	照査項目	照査内容		照査②			確認資料	備考
				該当対象	確認			
						確認日		
			該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入	確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	設計業務等照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照	
1	設計計算書	1)	打合せ事項は反映されているか。					
		2)	設計条件、施工条件は適正に運用されているか。					
		3)	インプットされた値は適正か。					
		4)	各検討設計ケースは適切か。					
		6)	荷重、許容応力度の取り方は妥当か。					
		7)	安定計算結果は許容値を満たしているか。					
		8)	荷重図、モーメント図等は描かれているか。					
		9)	施工を考慮した計算となっているか。					
		10)	応力度は許容値を満たしているか。また、単位は適正か。					
		11)	図・表の表示は適正か。					
		2	設計図	1)	打合せ事項は反映されているか。			
2)	縮尺、用紙サイズ等は共通仕様書、または、特記仕様書と整合されているか。							
3)	必要寸法、部材形状等にもれはないか。							
4)	全体一般図等に必要な項目が記載されているか。（水位、地質条件、法線、座標値等）							
5)	使用材料及びその配置は計算書と一致しているか。							
6)	構造詳細は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。							
7)	各設計図が相互に整合しているか。 ・一般平面図と縦断図、横断図、構造図 ・構造図と配筋図 ・構造図と仮設図							
8)	設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。（特に応力計算、安定計算等の結果が適用範囲も含めて整合しているか。） ・かぶり ・壁厚 ・鉄筋（径、ピッチ、使用材料、ラップ位置、ラップ長、主鉄筋の定着長、段落し位置、ガス圧接位置） ・鋼材形状、寸法 ・使用材料 ・その他							
9)	レイアウト、配置、文字サイズ等は適切か。							
10)	解り易い注記が記載されているか。							
11)	図面が明瞭に描かれているか。（構造物と寸法線の使いわけがなされているか。）							
12)	工種・種別・細別は工種別体系と一致しているか。							
13)	施工に配慮した設計図となっているか。							
14)	寸法・記号等の表示は適正か。							

成果品の照査項目一覧表（様式－３）

No.	照査項目	照査内容		照査②			確認資料	備考
				該当対象	確認			
					確認日			
			照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入		確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	設計業務等照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照	
3	数量計算書	1)	数量計算は、数量算出要領及び打合せ事項と整合しているか。(有効数字、位取り、単位、区分等)					
		2)	数量計算に用いた寸法、数値、記号は図面と一致するか。					
		3)	数量取りまとめは、種類毎、材料毎に打合せ区分にあわせてまとめられているか。また、数量算出要領にあわせてまとめられているか。					
		4)	数量計算の根拠となる資料(根拠図等)は作成しているか。					
		5)	施工を考慮した数量計算となっているか。					
		6)	工種・種別・細別は工種別体系と一致しているか。					
		7)	数量全体総括、工区総括、ブロック総括等、打ち合わせと整合し、かつ転記ミスや集計ミスがないか。					
		8)	使用する材料の規格及び強度等は記入されているか。					
4	施工計画書	1)	施工法、施工順序が妥当であるか。(工法比較時の金額は妥当か、工程及び施工方法は妥当か)					
		2)	施工に対する申送り事項が記載されているか。					
		3)	経済性、安全性が考慮されているか。					
		4)	工事中の環境面が考慮されているか。					
		5)	全体事業計画との整合が図られているか。					
		6)	関係法令を遵守した計画になっているか。					
5	設計調書	1)	設計調書の記入は適正になされているか。					
		2)	マクロ的に見て問題ないか。(設計条件、幾何条件、主要寸法、主要数量(例、m2当たりコンクリート量、m3当たり鉄筋量、m2当たり鋼重等)を類似例、一般例と比較する。)					
6	設計概要書	1)	設計概要書は作成したか。					
7	赤黄チェック	1)	赤黄チェック等により照査したか。					
8	報告書	1)	報告書の構成は妥当か。特記仕様書の内容を満足しているか。					
		2)	打合せや協議事項は反映されているか。					
		3)	設計条件の考え方が整理されているか。					
		4)	比較検討の結果が整理されているか。					
		5)	工事発注時に仕様書で指定すべき事項・条件明示すべき事項が明記されているか。					
		6)	「電子納品要領(案)」に基づいて適正に作成したか。					
		7)	今後の課題、施工上の申し送り事項及び工事発注に際しての留意事項が記述されているか。					
9	コスト縮減	1)	実施したコスト縮減効果は整理したか。					
10	建設副産物対策	1)	リサイクル計画書を作成しているか。					
11	TECRIS	1)	TECRISの内容について、発注者と確認を行ったか。					

成果品の照査項目一覧表（様式－３）

追加項目記入表

No.	照査項目	照査内容		照査③			確認資料	備考
				該当対象	確認			
						確認日		
				該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入	確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	設計業務等照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照